

第62回

【テーマ別】

市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成27年11月12日

○会 場 亜 細 亜 大 学

武 蔵 野 市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そして屋外において実施する「青空タウンミーティング」がございます。

今回は、亜細亜大学の学生の皆さんにご協力いただき、「学生がまちづくりに協力できること」をテーマに「第62回市民と市長のタウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告いたします。

今後も、様々なかたちで、皆様との意見交換を行い、市民が主役のまちづくりを進めてまいります。

武蔵野市長

邑上守正

概 要

1. 日 時 平成27年11月12日（木）
午後 7 時～ 9 時
2. 場 所 亜細亜大学 5号館524教室（境 5－24－10）
3. 協 力 亜細亜大学
4. 参 加 者 数 40人（傍聴者含む）
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正
6. 司 会 亜細亜大学学生 榎本 ^{まなみ}真美
市民部市民活動担当部長 秋山 真弘
7. テ ー マ 『学生がまちづくりに協力できること』

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 「学生がまちづくりに協力できること」をテーマにした意見交換（要旨）	
1. にぎわう楽しいまちづくり	5
2. 人と人が支えあうまちづくり	8
3. 環境にやさしいまちづくり	10
4. 災害に強いまちづくり	12
5. 全体を通じて	15
(3) 閉会のあいさつ	17
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針.....	18
3. アンケートでいただいた感想	22

— 付属資料 —

第62回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市 長】

皆さん、こんばんは。今日は楽しみにしておりました。多くの学生さんに集まっていただきましてありがとうございます。また、今日は亜細亜大学をお借りすることができまして、栗田学長、ありがとうございます。

タウンミーティングは 62 回目になりました。私は市長になってから 3 期目、10 年目になりますが、市民が主役の市政を進めようということで、様々な市民参加を行ってまいりました。その中で、やはり私自身が地域に出かけていって市民の皆さんの声を聞き、意見交換をすることを大切にしておりまして、これまでに合計 4500～4600 人くらいの方にご参加いただいています。フリーの時は年齢層の高い方が結構来られるので、できれば、世代を超えていろいろな方から声を聞きたいということで、時々学生さんを対象に行っています。

実は、以前にも武蔵野プレイスで、亜細亜大学の皆さんに協力いただいてやったことがあります。その後、成蹊大学の皆さんに協力いただいて、吉祥寺シアターでもやりました。また、市内に滋賀県の学生寮で湖国寮というのが西久保にあるのですが、その学生さんたちともやったことがありました。いずれも、この地域に暮らしたり、学校に通っていただいている方ばかりなので、いろいろな視点でご意見をいただきました。私としても大変参考になりましたし、その後のいろいろな市政運営にもつながってきたのではないかと考えています。

今日は、寮生の方も多いということですので、住民としての視点でも大いにご意見をいただけるのではないかと考えています。ここに市民と市長のタウンミーティングと書いてありますが、この市民というのは、必ずしも在住している人だけに限りません。武蔵野市というのは、どちらかというと昼間人口のほうが多いのです。昼間人口を支えていただいているのが実は学生であったり、あるいは就業している勤労者の方です。私は広義の意味で市民というのは、そういう方も含めて市民ではないかと考えております。学生の皆さんは全て市民だと思っていますので、ぜひ市民の視点でさまざまな声をいただければと思っています。勉強した一日の後でお疲れのところ申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願いします。



【栗田学長】

皆さん、こんばんは。市長の今のお話だと、ここにいらっしゃる方全員が武蔵野市民であるということで、通学通勤者も武蔵野市のインフラやサービスを利用されていますので、当然、武蔵野市政に対していろいろな注文をつけられるという立場でございます。ぜひ忌憚のない意見を出していただきたいと思います。

ちょうど 18 歳選挙権が実現しまして、もう皆さんも立派な有権者ということになります。最近の安保法制の動きについて、若い人がすごいことを言うなと感心しながら聞いていたこ

とがあるのですが、もう立派な主権者としての心意気で日本の未来を考えるとというのはすばらしいことだと思います。

日曜日の夜の大河ドラマ『花燃ゆ』では、今幕末から明治に入っていて、その頃の時代であるとか、朝の連続ドラマ『あさが来た』の広岡浅子さんは日本女子大学をつくった方の中の一りで、三井家に生まれて、両替屋、その後炭鉱の経営を始めた方で、最近本を読んで、女性としてすごく力のある人だなど思っていますが、あの頃の明治にかけての人というのは、20 代、30 代の方が相当活躍されています。坂本龍馬のように若くして亡くなっている方もいるのですが、日本という国をどうするのかということ自分の生涯をかけて考えて、しかも考えるだけでなくて行動したという、そういう人たちの力によって今日の日本の基礎がつくられたと思うと、若い人のパワーというのは非常に大事だと思っています。

私も、シニア世代の NPO などでもリタイヤした人が地域にどういうふうに貢献できるかということ市と一緒にやっているのですが、NPO や市民活動団体は、どこも高齢化してきて、若い世代が足りないという共通の悩みを持っています。若い世代をどうやって呼び込んだらいいのだろうと、皆、頭を悩ませています。そういうこともございますので、ぜひ若い皆さんの感性とセンスで、ここはこうしたらいいのではないかというご意見をぜひいただきたいと思います。

また亜細亜大学としても、いろいろな機会に皆さんに参加をしてもらって大学をよくしていきたいと考えておりますので、ぜひご協力をいただきたいと思います。どうぞ今日はよろしくお願いします。



(2)「学生がまちづくりに協力できること」をテーマにした意見交換（要旨）

【市 長】

まず、今日のテーマに関連して、武蔵野市の取り組み等を紹介しますが、時間が足りないので、後でテーブルごとにディスカッションするときに、市の職員がそれぞれ入ってちょっとアドバイスをしてください。今日は議員さんも何人かいらっしゃるので、武蔵野市のことを教えてあげていただければと思うので、時々回って入ってください。

今日はあらかじめ4つのテーマを設定いただいています。「にぎわう楽しいまちづくり」、「人と人が支えあうまちづくり」、「環境にやさしいまちづくり」、「災害に強いまちづくり」ということで、いずれも武蔵野市が、今テーマとしている課題です。

「にぎわう楽しい」と言えば、吉祥寺には人がいっぱい来ているじゃないかと思われるかもしれませんが、最近、武蔵境が一生懸命頑張ってまちづくりに取り組んでいます。亜細亜大学への玄関口の北口駅前広場も来春完成しますので、ぜひ楽しみにしていただきたいと思っていますが、その整備が終わると、武蔵境のまちづくりも一段落します。以前は電車が地べたを走っていて、踏切がありましたが、線路が上に上がって踏切がなくな



って、大変回遊性のあるまちになってまいりました。それから、武蔵境では4年前に武蔵野プレイスが誕生して、極めて多くの方にご利用いただいています。昨年度は年間160万人、今年はそれを上回る利用者数を見込んでいますが、そういう多くの方が来ている、つまりにぎわっている地域でもあるのです。亜細亜大学もあるし、日本獣医生命科学大学もある、そして、東京外国語大学とかICUの学生さんたちも武蔵境駅を拠点にしているということから、若い人が割と多いですね。若者のまちとしては大いににぎわいはあるけれど、果たしてこれでいいのかなというのをぜひ考えていただいて、提案していただきたいと思っています。もちろん、吉祥寺をもっと魅力的なものにするためにはどうしたらいいかということもぜひご提案いただけたらと思っています。

それから、商店街についてですが、駅前の大規模なイトーヨーカドーなどには多くの方が来ていただいています。地域の路線商店街というのはなかなか厳しい状況です。これは武蔵野市全体の課題ですが、どうしたらそういう商店街がもっと元気になるのかとか、皆さんが通学路で感じていることなども、いろいろご提案いただけたらと思っています。

それから、「人と人が支えあうまちづくり」ですが、武蔵野市というのは、町内会とか自治会があまりないのです。地方都市へ行きますと、町会が全市にあって、そのネットワークが組まれていて、市のお知らせも伝わるし、あるいは地域の高齢者の見守りとか防災といった、町内会でできるところが多々ありますが、武蔵野市は全市域にないのです。なかなか苦労しています。町内会にかかわって、コミュニティセンターを中心にコミュニティづくりをしています。広く薄くというものなので、なかなか地域の課題解決に至っていません。これからの福祉や、防災、青少年の

健全育成などを考えると、やはり地域の皆さんの力なくして、取り組みは進みにくいので、このような武蔵野市にあって、どうしたら、皆さんにいろいろなところに参加していただいて力を出していただけるのか、そんなことをぜひ皆さんからご提案いただきたいと思います。

それから、3点目は環境問題です。武蔵野市というのはすごく狭くて、面積が11平方キロメートルしかないのです。駅が3つあって、駅から大体2キロメートルの円を書くと大体市が埋まってしまう。つまり、駅から歩いて行ける範囲に市域がおさまっているということから、大変コンパクトで効率のいいまちではあります。しかし、緑がありそうで実は全体的にはまだまだ足りていなかったり、山もなければ川もない、その中でいかに自然的な環境を皆さんに享受いただけたらいいのか。それから、どちらかというと高密度の都市なので、消費型の都市です。消費型の都市がいかに環境にやさしいまちづくりを推進していかなければならないということも大きな課題となっています。

そこで市では、例えば太陽光発電をたくさん設けておりますし、また、ごみ問題も一生懸命検討しています。ごみは、量的にも多い状況です。今、1人1日当たり658グラムという量のごみを出されていますが、この量は、多摩の26市の中ではダントツに多い数字です。ごみをどうやって減らせるのか、リサイクルをはじめとして、そういう環境にやさしいまちがどのようにしたらできるのか、皆さんにどういうふうに協力いただければもっと環境にやさしいまちになっていくのか、その辺をぜひご議論いただけたらと思っています。

それから、4番目の視点は「災害に強い」ということで、武蔵野市は災害に強いまちづくりを目指そうということで、耐震化などを一生懸命やってきました。先ほどお話ししたとおり、山もなければ川もないので自然災害が少ない都市なのです。実は地盤も固いほうで、9月に大きな地震があって、調布が震度5弱というときがありましたが、三鷹市、小金井市、西東京市は震度4というときに、武蔵野市は震度3でした。たまたまだったかもしれませんが、武蔵野市は、若干、周りに比べれば地盤も固くて安全性の高いまちかもしれません。しかし、想定では震度6を超える地震も予想しているので、耐震補強がまず第一だと思っていますし、また、建物の中の家具転倒防止を徹底して、けがのないようにということを第一優先にしているのですが、耐震化率が想定目標数値になかなか上がっていかず、8割を超えたところで足踏み状態なのです。できれば耐震化率が100%であれば建物は倒れない、家具の転倒防止も100%であれば倒れないので怪我もしないというまちにしていきたいのですが、なかなかそうもいきません。それから、いざというときには、避難所でさまざまな運営をしていただきますが、避難所の組織もまだ100%整っていないのです。そういうことも含めて、皆さんがどういう協力ができるのか、役割が担えるのかということもぜひご提案いただければと思っています。

今、駆け足で4つのテーマについてお話をしましたが、武蔵野市は住んでみたいまち、吉祥寺は特にそういう評価があります。それに甘んずることなく、今言ったような課題も解決しながら、皆さんには、学生が終わっても住み続けてもらいたいし、ぜひ武蔵野市で家庭を持ってい



て子育てもしていただければと思っています。そういう視点で、市民の一員として大いにものを申しただけたらと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

【司 会】

皆さん、こんばんは。亜細亜大学経営学部の榎本真美と申します。本日は司会を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

簡単にグループワークの進め方の説明をいたします。各テーブルにそれぞれのテーマが設定されておりますが、流れとしては、まず、こんなまちになってほしい、こんなことをやってほしいということを最初に話し合ってくださいまして、その後に、それを実現させるためには、自分たち学生からどういうことを発信していきたいのか、どんなことができるのかということを考えていただいて、たくさん意見を出してみてください。そして、最終的に市長に提案をしていただきます。発表の方法としては、模造紙を使っていただいても構いませんし、口頭でも構いません。リラックスして楽しんで話し合いを進めてください。

グループごとにそれぞれのテーマに沿って議論を行い、意見を模造紙にまとめた。

- 1・2グループ 「にぎわう楽しいまちづくり」
- 3グループ 「人と人が支えあうまちづくり」
- 4グループ 「環境にやさしいまちづくり」
- 5グループ 「災害に強いまちづくり」



【司 会】

1グループ10分間を目安にして、3分程度で発表していただいて、その後市長から残りの時間の中で回答していただくという形になりますので、よろしくお願いします。

1. にぎわう楽しいまちづくり

【1グループ発表】

私たちが考えるにぎわう楽しいまちづくりというのは、若者が多く、家族連れが多くて、若者とお年寄りが一緒になってイベントをしたり、外国の人と一緒にやれるイベントがあったりするように、たくさんの人と交流ができるということだと思いました。

そういうまちづくりをするためには、子どもたちの遊ぶスペースを多くしたり、夏祭りやクリスマス会など子どもが楽しめるようなイベントを増やしていくことが大事なのかなという案が出ました。そういうイベントをするために私たちができることは何だろうと考えた結果、フリーマーケットなど、学生や若者たちとお年寄りの人たちの交流をする場を設けたり、自分たちが学んでいる学業を活かして、例えばホスピタリティをやっている人たちは結婚式の企画をしたりしてまちおこしをしていけばいいのかなという案が出ました。

武蔵境ではイベントをたくさんしていると思いますが、そのイベントをしているの知らないという意見が多く出て、そのイベントを知るための宣伝としてSNSなどのラインやツイッター

を使ったり、アジア祭などをするときには、すきっぷ通りなどに大きな横断幕を掲げていたりするので、そういう宣伝活動をして、地域の人たちに、ああ、今こういうことをやっているんだということを伝えていけるような宣伝をしていったらいいのかなという案が出ました。

【市長】

楽しいまちにしようという視点で、いろいろな世代が集まるというのが基本にあって、家族で遊べたり、若者、外国人の皆さんとも交流できるイベントということですね。ただ、場所に関しては、公園など一定の広さを持った場所が必要だと思います。

1つお勧めの場所としては、武蔵野プレイスです。武蔵境駅の南口にあります。武蔵野プレイスの前の芝生広場は、いろいろな活動ができます。若い人も来られるし、子どもも遊べるということで、1つのモデルになっているのではないかと思います。あそこではいろいろなイベントをやっています。朝早くからおじちゃん、おばちゃんたちがラジオ体操をやっています。昼間も、特にイベントはありませんが、親子連れでにぎわっています。そして、日曜日は月1で、「さかいマルシェ」というフリーマーケットがあります。季節ものでは、夏に盆踊りとか、先週は環境フェスタというお祭りもやったし、イベント広場としていろいろな人に活用いただいています。そういうイベントでは、実は亜細亜大学の吹奏楽団の皆さんが演奏してくれて、いろいろ盛り上げていただいています。プレイスは武蔵境の一つの拠点だと思っています。



さかいマルシェ

さて、いろいろイベントはやっているけれど、なかなか伝わらないという話でした。それが難しいのです。市ではもちろん、ホームページをはじめとして、例えばフェイスブックもやってますし、ツイッターもやってますので、ぜひそれをつながけていただきたいと思います。それから、武蔵野市全体の観光的なイベントは、武蔵野市観光機構というところで、やはりフェイスブック等でお知らせをしているので、ぜひそういうものを見ながら皆さんと一緒に来ていただければありがたいなと思っています。

武蔵野市の情報というのは、あまり直接アクセスしていないと思いますので、まずは市役所のフェイスブックなどで情報を得てみてください。

【2グループ発表】

私たちのグループでは、活気のあるまちというのをテーマに意見を出しました。そこで考えたのは、国際交流のためのイベントなどや子どもとのふれあいです。活気のあるまちといたら、子どもがいるとにぎわい、彩りがあると私は思いました。例えば、一緒にバーベキューをして、その後ごみの分別講座をやって自分たちで体験してごみの分別を学ぶ。まちでずっと暮らしていくなら、ごみの分別が定着したほうがいいと思うので、どうかなと考えました。

あと、すきっぷ通りの商店街で大学生が短期のアルバイトをして、インターンシップみたいなものをやらせていただくといった職レポ（職業レポート）です。商店街で働いてみなければわからないことがたくさんあると思うので、やってみて楽しかったこととか、このまちにはまだまだ

こういう商店街のお店がありますよとか、自分で発信できたらと思って、職レポを考えました。

あと、食べ物の食レポも考えて、武蔵境にはラーメンとかおいしい食べ物がいっぱいありますので、学生によるSNSなどの情報発信力を使い、自ら足を運んで宣伝していけたら、もっと武蔵境のいいところを皆さんにわかってもらえんと思います。

その点で、武蔵境のラインのアカウントを作ったらいいかなと思います。広告は駅などにたくさん貼ってありますが、目にとまる人は少ないと思います。ラインなら9割ぐらいの方がやっていると思いますので、武蔵境のラインの公式アカウントを作ってもらって、そこで今月のイベントとか、武蔵境にできたカフェをおすすめしたり、図書館でこういうイベントをやっているのだから来てくださとか、ASIA PLAZAでこういうことをやっていますという情報があれば、もっと目にとまるのではないかと思います。

あと、亜細亜大学は国際交流が盛んで、留学生もたくさんいるので、留学生がもっと日本人と触れ合えるような交流のイベントも増やせたら、まちの活性化にもなるのではないかと思います。

【市長】

ありがとうございました。先ほどのグループもそうでしたが、いろいろな人が集うまちというのは、にぎやかさにつながっていくのではないかと思います。特に子どもというくくりを出していただきました。子どもは、小さい子だとお母さんが連れてくる、お母さんが来るとお父さんも来るとか、いろいろな人を一緒に呼び込んでいく役割もあるのではないかと思いますし、子どもがにこにこして遊んでいる姿というのはすごく癒されますよね。だから、子どもたちが来られるような環境を考えていくというのも、にぎわいの1つのやり方なのかもしれません。

それから、バーベキューというのは、皆さんどこでやるのでしょうか。小金井公園か武蔵野中央公園ですかね。都立公園の中ではバーベキューはOKになっているので、そういうところに行かれるといいですね。できれば、自分たちのグループだけでなく、隣のグループと交流をしたり、そういう一歩進んだつながりができてくると、輪が広がっていくのではないかと思います。特に亜細亜大学の皆さんは、外国から来られた方もいっぱいいるので、そういう外国の食べ物や文化をお隣のグループに伝えていただくとか、そういうことでつながりが広がっていくのかなと思っています。

それから、職レポというのは、職業のレポートですか。仕事をして、その様子をレポートしてみんなに伝えるということですか。

【2グループ】

はい、そうです。職業を自分で体験して、こういう仕事でしたよとか、こういうお店がありますよというのを自分で発信して伝えていくイメージです。

【市長】

武蔵野市内でバイトをしている人は、この中にも結構いると思います。どういう仕事かわかりませんが、飲食関係が恐らく多いですよ。つまり、日本の外食産業は学生によって支えられているといっても過言ではありません。どこへ行ってもみんな学生バイトです。バイトは、ぜひこれからも続けていただきたいし、特に先ほどの提案ですと、すきっぷ通りに行って、そこでいろいろ経験して、それを発信していく。できればいいところを発信していただければと思いますね。そうすると、他の学生さんたちにもつながって、すきっぷ通りはおもしろそうだなと感じて実際

に行っていただくと、だんだんと活気が生まれてくるのかなと思うので、地元のいろいろなお店に行っていただきたいと思います。また、地元の学生さんを使ってくださいということはぜひ言っていきたいと思っています。



それから、模造紙に書いていただいた、武蔵野ツアーをやったということです、なかなか自分で探すのは苦労する場面があります。先ほど紹介した武蔵野市観光機構というところでは、徐々にこういう取り組みを進めています。今は吉祥寺を中心にしたツアーを月1回ぐらいでやっておりませんが、先日はこの武蔵境から戦争の遺跡を巡るという、平和を巡るツアーというものもやっていただいたので、この先はまちごとにいろいろ魅力的なものを、皆さん

から紹介していただいて巡るようなツアーも考えていきたいと思っています。ぜひ皆さんには、ガイドをしていただく側になっていただくとおもしろいと思いますし、その中で亜細亜大学の何かおもしろいところを案内するとか、そういうこともやっていただくと、亜細亜大学と地域がますますつながっていくのではと思います。

それで、武蔵境のラインのアカウントをご提案いただいています、ツイッターでは独自にやっている武蔵境ニュースというのが幾つかあります。難しいのは、市役所が直にやるとなかなか出せない情報があります。おいしいお店はどこというのは、特定のお店をひいきすることになってしまうので、市役所は出せないのです。なので、これは市ではなくて民間の皆さんや、NPOの方にぜひやってもらいたいなと思っています。

ちなみに、武蔵境の活性化委員会というのがあって、これには亜細亜大学の皆さんにも時々参加していただいていて、境ニュースというのを編集いただいたりしています。そういう情報もインターネット経由でいろいろ提供しているので、ぜひ一度アクセスしていただいて、逆にそういう情報発信の場にも皆さんに協力いただければうれしいなと思っています。実際その場所に行かなくても、皆さんは手元でいろいろ情報発信できると思いますので、そういう形でのまちづくりへの参加というのは学生さんは大いにあり得るのではと思っています。

2. 人と人が支え合うまちづくり

【3グループ発表】

皆さん、こんばんは。私たちのグループは「人と人が支えあうまちづくり」について考えました。最初に考えていたのは、やはり出会いの場をつくらなければ人と人の知り合いがなくて、支えあうことができないということです。市でも今、人と人の出会いの場をつくるイベントを多くなさっているということですが、やはり、市報とかで情報を流しているだけで、多くの人に知られていないということが問題だと思っています、イベントの情報をどうやって広めるかというところが一番大きな課題だと考えています。

そして、違う世代と交流することが少ないという現状も見られると思います。例えば、大学だと大学の友達とか、同じ若い20代の人とコミュニケーションをするだけで、40代ぐらいの人など

とコミュニケーションするチャンスが少ないということです。そこで考えたのが、赤ちゃんの写真コンテストです。親も一緒に行くという形で、親の間でコミュニケーションもできますし、あと家族と一緒に参加する形で、いろいろな世代の人も参加できるのではないかと思います。

2番目は、フリーマーケットを開催するという事です。グループの中のメンバーも武蔵境で探していましたが、なかなか見つからなくて吉祥寺しかなかったということでした。フリーマーケットは、実は学生に対してもすごくいいイベントではないかと思います。新しい学期が始まる時、新しい寮に住むことによって、デスクとか、椅子とか、いろいろなものが必要になります。私も日本に着いたばかりのときに、自分のデスクとか椅子とかを買ったのですが、1週間ぐらい後で寮から出る子がいて、家具が不要になりますからだれか要らないかと聞かれたことがありました。そういうときは無駄になるものが多いのではないかなと思いますので、フリーマーケットによってリサイクルできますし、出会いの場にもなると思います。

それから、スポーツ大会もいいイベントではないかと思います。そこで学生としてできるとしたら何だろうと考えましたが、亜細亜大学だと亜大ポータルという亜細亜大学生用のポータルサイトがありますよね。皆さんも、そういうお知らせがいっぱい入ってくるからよくご覧になると思いますが、そういうところで、例えば武蔵境のイベントの情報を流すことができるとしたら、もっと多くの人に知らせることができると思います。そして、亜細亜大学だけではなくて、武蔵野市の大学が連携して、その中で皆さんがちゃんとそういう情報を見られるようにできるといいと思います。

大学生は勢いもありますし、企画とか宣伝とかでも協力できるところがいっぱいあると思います。例えば、宣伝のところについて、それぞれの大学の中では美術部とか絵のうまい人もいますし、ポスターとかのデザインもできる子がいると思います。今の宣伝方法では、イベントの情報が十分に広がっていないということなので、例えば大学の人がちゃんとポスターをつくって、駅の前に大きく貼ったら、電車をおりるたびに多くの人必ず見ると思いますので、もっと多くの人との出会いが可能になっていくのではないかと思います。



【市長】

出会いの場をつくるきっかけとして、模造紙でもいろいろ提案いただきました。赤ちゃんの写真コンテスト、フリーマーケット、スポーツ大会ですね。実は赤ちゃんの写真コンテストはずっと長くやっていたのですが、毎年同じような感じになってしまっていたので、一旦休止にしています。今は募集をしていないのですが、確かに赤ちゃんの写真が揃うと、みんなにこにこ顔になりますよね。そういう写真展をやると人が集まるので、確かにそういうきっかけにはなり得るなと思います。

それから、フリーマーケットは、実はいろいろなところでやっているのですが、4月にやるというのはあまりないかもしれませんね。先月もやっていたし、コミュニティセンターの文化祭の中でフリーマーケットをやるのですが、6月、7月くらいからやっていて、確かに学生さんにと

っては4月というのは変わり目なので、そういうものがあると助かる場合もありますよね。亜細亜大学の学生の皆さんが主催をされて、地域に呼びかけて、ぜひやってくださいということをお願いいただくと、結構皆さん来ると思います。市役所でも、24年度まではクリーンセンターというごみの焼却場でフリーマーケットをやっていたのですが、出店したいという人がいっぱいいて、抽選でやっていただけぐらいです。ぜひ4月限定、学生対応のフリーマーケットとかそういうのを企画していただくといいと思います。今は市が主催のものは行っていないのですが、ごみ総合対策課というところがやっていたので、相談していただいて、ぜひやっていただきたいと思います。

それから、武蔵野市の大学の連携、これは私も期待しています。武蔵野市内には亜細亜大学の他に成蹊大学と日本獣医生命科学大学があって、あと隣接して東京女子大学と武蔵野大学があります。この5つの大学は、武蔵野地域自由大学というかたちで連携をしていただいています。市民の皆さんの生涯学習の場として授業を提供いただいたりしているので、ぜひこれからもそういう市民との関わりをつなげていただきたいのですが、一方で学生同士の連携というのもこれから大いに進めていってほしいと思います。それは市がやるのではないかもしれませんが、学生会とか、そういう組織の皆さんが、みんなで楽しいことをやろうじゃないかと言っていれば、市は大いに応援できますので、何か考えていただければと思っています。

ちなみに、今、亜細亜大学と武蔵野市、成蹊大学と武蔵野市は包括連携協定というものを結んでいて、何でも助け合いましょうということは合意できていますので、何か発信することがあれば、武蔵野市から成蹊大学へつなぐことができます。ましてや、栗田学長は、実はボランティアセンターの代表をやられていた方で、地域のつながりをすごく持っている方なので、学長先生にご相談いただくのもいいのではないかと思います。大学の連携、特に学生の連携は皆さんが主体になってつないでいただければと思っています。何かおもしろいことをやってください。

その中で、学生のつながりだけでもいいですが、おじさん、おばさんたち、あるいは子どもたちも招いていただくと、いろいろな世代が交流できるイベントになっていくと思います。イベントも地域のベテランの方が企画するイベントだと、なかなか皆さん行きづらい面があると思います。皆さんが主体となってやるイベントは、皆さんが必ずいらっしゃるの、そこに高齢の世代も、あるいは子どもたちも割と参加しやすいんじゃないかなと思います。そうすると、違う世代との交流が進んでいくと思いますので、ぜひそんなことも提案いただければと思います。

3. 環境にやさしいまちづくり

【4グループ発表】

このテーマについて、主にたばこのポイ捨て、ごみの削減、公衆用施設と都市緑化の3点について意見が出ました。まず、たばこのポイ捨てについてですが、喫煙所をふやしてポイ捨てを禁止していこうという案が出ました。自分たちでできることとして、1つ思いついたのが、亜細亜大学の学生がポイ捨てを減らすポスターなどをつくるということです。

次に、ごみの削減について出たのは、市全体でごみ削減についてのキャンペーンを行うということです。これは市によるごみの削減目標の作成と、その削減目標の市民への周知です。キャンペーンに協力してくれた市民に何かしら市からのフィードバックを行えば、さらに協力してくれる市民が増えると思います。学生ができることとしては、タバコのポイ捨てと同じで、ポスタ

ーを作成して、市民へ周知できれば良いと思います。

次に、公衆用施設と緑地化ですが、市指定の緑化区域を作るという意見が出ました。例えば、市営マンションの屋上などを緑化するとか、亜細亜大学の使われていない屋上を緑化するというものです。亜細亜大学の屋上を緑化するのは、亜細亜大学の学生ができるのではないかと思います。

もう一つ、公衆用施設についてですが、公園などに設置されている公衆トイレなどの清掃を市と学生が協力をしてやっていくという意見です。公衆トイレの清掃をすることによって、公園の安全や利用者の増加につなげることができると考えました。きれいにしただけで終わってしまっただけでは、また汚くなってしまうと考えたので、きれいにした後のトイレをきれいに使い続けられるように管理や広報を亜細亜大学の学生が行っていくということです。ポスターをつくるのも良いと思います。

【市長】

たばこやごみ、それから緑化の問題について、指摘、提案をいただきました。武蔵境駅周辺というのは、路上禁煙地区になっています。ただ、駅をおりて、たばこを吸いたいという人がいらっしゃるの、マナーポイントという場所を設けて、たばこを吸える場所を決めていました。ところが、煙というのは真上に行かずいろいろな風向きで流れてしまうので、そばを通る人にとっての受動喫煙の問題を解消するため、武蔵野市では2年前にマナーポイントを廃止しました。屋外にたばこの吸える場所をつくっても、煙というのはどんどん流れていくので、屋外の設置はなかなか難しいと思っています。しかも駅前というのは多くの方が来られる場所で、人の密度も高く、どうしてもそういうアウトター型の喫煙コーナーというのは難しいなと思っています。吸われる方もいるということは否定しませんので、今、JT、日本たばこ産業の皆さんにも相談をしていますが、ぜひインナー型の喫煙所ができないかなという投げかけをしています。それは周りを歩いても煙を吸わなくて済みますから、そういうのを、公衆喫煙所的な感じでできないかなということで呼びかけていますが、なかなか日本たばこ産業さんはつくってくれないですね。



それから、ポイ捨てについてですが、これはマナーの問題だと思います。たばこを吸う方だって、自分の灰皿を持って吸う方はたくさんいらっしゃいますが、たばこを投げ捨てることはマナー違反だと思っていますので、それは徹底的に厳しく指導しなければいけないと思っています。亜細亜大学の皆さんがそういうポスターをつくって、かつ、道中見つけたら注意していただくとより一層いいのではないかと思います。ぜひそういう運動もしていただき、亜細亜大学と武蔵境駅の間はたばこは吸わないとか、マナーアップ通学路などの取り組みで協力いただければありがたいと思っています。

ごみの問題はなかなか難しく、武蔵野市はなぜごみが多いのかいろいろ調査をしますと、その分、ものを買っているんです。消費額とごみの量というのはやっぱり比例するようですので、いたし方ない面もありますが、少なくともリサイクルできるものは徹底してリサイクルする。皆

さんも何かを買おうとプラとかいろいろな表示を目にしたいと思います。そういうものは全部リサイクルとして、武蔵野市では無料で引き取っています。有料ごみというのは、燃やせないごみと燃やすごみですね。グリーンの袋に入れて出してもらうことになりますが、それ以外のものはリサイクルなので、ぜひ分別して、燃やすごみとか燃やせないごみの量を減らしていただきたいと思っています。それが大きな課題です。

それから、どうしても食べ物の容器がいっぱい出てしまいます。コンビニで買うと必ずそういうプラごみがいっぱい出てしまうので難しいですが、なるべく容器が少ないものを買うとか、お店にも、なるべく過剰な容器は減らしてくださいという話をしています。皆さんも、過剰な包装やレジ袋はなるべく辞退していただいて、マイバックに直接品物を詰めるような、一つ一つ小さいことですが、そんな工夫をしていただけると、全体としてごみの量が減ってくるのではないかと思います。

次に、緑化の問題ですが、この辺は緑が比較的多いですよ。農地もありますので、豊かな環境ではあるのですが、これを守っていくということが実に難しいんです。木はいいけれども、落ち葉は嫌だよという人が結構います。家の前に落ち葉が落ちていると、市役所に電話がかかってくる。「早く落ち葉をどけてよ」という言い方をされます。落ち葉を処理するのにどんどん税金を使っているのか、あるいは各ご家庭で皆さん方がちょっとずつ家の前を掃除していただくのがいいのかというと、できれば協力していただくほうがいいのではないかと思います。そして、できれば掃いた落ち葉はごみとして燃やすのではなくて、落ち葉の堆肥化につなげていきたいと思っています。落ち葉をずっとためて腐らせていくと、それは畑の肥料になっていきますので、そういう循環型の社会をもっと進めていきたいと思っています。

また、屋上緑化ですが、なかなか地面には木を植える場所が少ないという中で、建物の屋上緑化というのは期待されるところであります。ただ、これもお金のかかる話です。亜細亜大学には屋上緑化が一部あるということですが、その世話を学生の皆さんがしてくれると、大学はすごく助かりますよね。そういう緑を推進するグループや、緑守り隊などをつくってもらって、学校の敷地の中の緑の維持管理にもご協力いただくと、すごく学校は助かるのではないかと思います。そういう費用を皆さんの研究活動などにつなげていけるとと思いますので、そういう活動にもぜひ積極的に取り組んでいただければと思います。

4. 災害に強いまちづくり

【5グループ発表】

私たちのグループでは、「災害に強いまちづくり」について話し合いをしました。

まず、意見として一番多かったのが、「わからない」という声で、まず、避難場所がどこにあるのかわからないです。実際に亜細亜大学の中で避難訓練を数回行ったことはありますが、災害が起きたときに私たちが亜細亜大学にいるとは限らないので、武蔵野市内にいるとき、ほかの場所ではどこに避難場所があるのかとか、実際、亜細亜大学は避難場所ではないということも教えていただいたので、ではどこなのかということと、あとは避難訓練が市として実施されているのか、災害被害、あと耐震強度、実際に災害が起きたときにどういう対応をすればいいのか、どれぐらいの被害が予想されるのかわからないという声が多く上がりました。

ほかには、近所づき合いをもっとよくしたり、お年寄りがどこに住んでいるのか把握すれば、私たちの若い世代が何か協力できることがあるのではないかとということと、外国人も武蔵野市には多く住んでいるので、よく武蔵野市の防災無線を聞きますが、あのアナウンスは日本語なので、わからない外国人もいるのではないかとという指摘の声もあがりました。

市にしてほしいこととしては、情報公開をもっとしてほしいという声があがりましたが、一緒に話し合いに参加してくださった議員さんから、実際には武蔵野市は防災ハンドブックや防災マップを作成していたりして、災害対策をしっかりとっている。でも、私たちは知らない人が多いということがわかったので、もっと私たち自身が災害情報に興味を持ったりしなければいけないと思いました。でも、大学生は特に地方から上京している人が多くて、そうすると実際の災害を経験した人としていない人とは興味の差とか意識が違ってくるので、大学生に向けて今までの大震災について学ぶ機会を設けたり、セミナーなどで大学が宣伝に回ったり全面協力したり、もっと若者の使う情報網を使って情報を発信していったらいいなということで意見がまとまりました。



防災ハンドブック

【市長】

冒頭にお話ししましたが、武蔵野市は安全なまちづくりをもっと進めようということで、まずは建物が倒れないように耐震化の取り組みを推進しています。亜細亜大学も、まずは建物の安全性ということを最優先にいろいろ検討されていると思います。地震が起きた、すぐ逃げろではなくて、まずは自分の命をどうやって守るかだと思っています。ちなみに、今想定されている地震では、例えば亜細亜大学の建物が倒れることはまずありませんが、机が倒れたり、スピーカーが落ちてきたりという、そういう落下物、転倒物でけがをする可能性があるのも、それに注意をして身を守っていただきたいと思っています。

次に、どこに避難したらいいのか。大学の場合は、建物が安全であればほかに行く必要はないです。学園内での放送やいろいろな情報を聞いて、その指示に従っていただきたいと思います。

万が一、避難が必要な時というのはどういうときかというと、例えば火災が発生したようなときですね。大きな火災が発生して、その火の勢いがなかなかとどまらないときは、避難所に逃げていただきたいのですが、この地域であれば小金井公園が広域避難場所に指定されていますから、そこに避難をすることになります。

地震の揺れは一旦おさまっても、いつまた余震が起きるかわからない、建物も壊れているところがある場合に、今度は避難所に避難することになります。家に帰れず、数日間これから避難所生活をしなければいけないというときには、武蔵野市では避難所を20カ所指定しています。武蔵野市立の小学校12校、中学校6校、それに、都立武蔵高等学校、都立武蔵野北高等学校の2カ所、合計20カ所を避難場所として、1週間程度の避難生活をしていただく場所として指定をしておりますので、万が一、家に帰れなくなったという場合、その避難所に行っていただきたいと思います。どこでもいいですが、ここから行くとしたら一番近いところは第二小学校、あるいは桜野小学校、第二中学校、武蔵高校になりますので、近くの避難所に行っていいただければと思います。

ただ、武蔵野市はもちろん避難所の運営を大いに考えていますが、避難所に行かなくとも安全な場所での避難生活をしていただけるような、そんな支援の考え方、つまり在宅避難という形も、今、行っていて、それが実は一番精神的にはいいんですね。いろいろな大震災での避難所の暮らしを聞いていると、避難所で具合が悪くなったという方も多々いらっしゃいます。固い床で慣れないところで日々を送るよりは、住み慣れた家で避難していただいたほうが、肉体的にも精神的にも非常に安定するので、むしろそちらのほうにシフトしていきたいと思っているので、在宅での避難生活ができるようなやり方を、今、考えています。例えば、避難所もそうですが、あるいはコミュニティセンターなどにもいろいろな物資を置くことになっています。物資というのは、避難生活に必要な食料や水などを置くので、そこに取りに行っていていただいて、安心できる場所で避難生活をしていただくということを推奨していきたいと思っています。

それから、取り組みが遅れているのは、外国人の皆さんに対する防災のさまざまな情報提供です。例えば、防災ハンドブックでも、基本は日本語でしか書かれていないので、国際交流協会（MIA）のほうで訳してもらうことも考えております。MIAは武蔵境にあります。そこでも外国人の皆様に対する防災の取り組みというのを、いろいろ検討いただいています。

武蔵野市は、災害に対しては極めて取り組みを進めているつもりです。その辺の情報をこちらからも発信していきますので、ぜひ皆さんも受け身の姿勢ではなく、積極的に聞いていただければありがたいなと思っています。

避難訓練についても結構実施しています。地域ごとに避難訓練もやっておりますし、最近では10月25日に、武蔵野市の総合防災訓練というのをやりました。先ほどご紹介した武蔵野市内の全20カ所の避難所で避難所設営訓練も行いましたし、メイン会場でありました第一中学校では、消防署のいろいろな救出訓練などもやりましたし、今回新たにペット対応訓練や、聴覚障害者、耳が不自由な方の避難訓練とか、いろいろ工夫をしてやっております。年間を通じていろいろなことをやっておりますので、ぜひそこにもちょっと様子を見に来ていただければと思っています。



防災訓練

ちなみに、1月17日には災害ボランティア訓練を市民文化会館で行うことになっています。ボランティアとしてどんなことが災害時にできるのか、そういう訓練にも来ていただければわかるかなと思います。

いずれにしても、亜細亜大学の学生さんにおかれましては、まず身の安全を確保されたら、地域にも力をいただきたいと考えています。この周辺地域には住宅団地もありますし、その住宅団地は、高齢化率が極端に高くなっています。お年寄りが住んでいる、かつお年寄りのひとり住まいも多いといった課題もあるので、皆さんには、どうですか、大丈夫ですかという見守りをしていただくとありがたいと思っていますし、避難所でもいろいろお世話をしていただいたり、そういうことも含めて、学生の皆さんが地域の防災に対しての関わり合いを持っていただくと、地域としてもすごくありがたいし、助かるなと思っていますので、今後一緒に相談させていただければと思っています。

5. 全体を通じて

【司 会】

全体を通じて何か質問等がありましたら挙手をしていただければと思います。今、話し合っていたテーマ以外でも、武蔵野市について何か質問はございますか。

【ご意見】

もしも私たち学生が自分たちでできることを考えて、有志で何人か集まって、それこそ防災で、自分の命を守った次には私たちはこの団地の人たちを守りに行きますとか、バーベキューからのごみ分別セミナーを大学生主体でやってみますとか、そういうのを企画するとしたら、市にはどうやって相談すればいいか。

【市 長】

今日、タウンミーティングを担当している市民活動推進課の誰でもいいです。皆さんの窓口になりますので、何でもいいので聞いてください。あるいは、M I Aのスタッフの方に相談いただいても市役所につながっていきます。もちろん、市長宛てでも構いませんが、私もその辺を歩いていますから、気軽に声をかけてください。

【ご意見】

武蔵野プレイスの3階に市民活動フロアがあるが、あそこの方に相談してもよいか。

【市 長】

大丈夫です。市役所につながっていくので、相談してください。

【ご意見】

大学と市との協定以外に、高校などと何かやっていたりするのかな。私は地方出身で、私が住んでいたまちは、高校の園芸部から花をもらって、駅前に植えていたりしていたので、高校とか中学校、小学校との連携は何かやっているのかなと思った。

【市 長】

大学は地域にいろいろ参加をいただいています。亜細亜大学にもいろいろなイベントに協力いただいています。高校はあまりないです。ただ、例えば都立武蔵高等学校の皆さんは、幼稚園に行って子供たちとの交流をしていただいたり、福祉施設に行って演奏していただいたり、個々にやっています。多分、都立武蔵高等学校だけでなく、吉祥女子高等学校や藤村女子高等学校の皆さんも地域のいろいろなイベントにも参加、協力いただいていると思いますが、市役所と高校が直接連携するというのは少ないかもしれません。

【ご意見】

私は今3年だが、今日参加してみて、1年のときから聞いておけばよかったという話題があったので、ぜひ1年生に向けて、4月とかにこういう意見交換会を市でやってくれたらうれしいと思った。

【市 長】

さっきも4月にフリーマーケットというご提案をいただきましたが、学生生活がもう半分過ぎた時期ではなくて、スタートの時点でいろいろ地域でこんなことをやっていますとか、そういうことが必要ですね。入学直後にそういう機会がありましたら市の職員を派遣いたします。私も来て、市の宣伝とかイベントの紹介とか、ぜひさせてください。いい提案ですね、ありがとうございます。

ざいました。

【ご意見】

M I Aに結構参加している。M I A以外にも、コミュニティセンターがあるということだが、実際に行ったことはないので、M I Aとコミュニティセンターで連携がとれているのかどうかを知りたい。

【市 長】

多分、あまり連携はとれていないです。コミュニティセンターには直接行っていただいて大丈夫です。亜細亜大学の川の向こう側に西部コミュニティセンターがあります。小さな体育室があって、そこでバドミントンの練習などで、結構亜細亜大学の皆さんにはご利用いただいています。それから、イベントの時にも演奏とかをしてもらっているんで、知っている人は結構利用していると思います。一度友達と行ってみてください。

【ご意見】

M I Aのほうは留学生が多いし、M I Aの行事ごとに亜細亜大学からボランティアの学生さんたちが参加しているので、行きやすい雰囲気がある。コミュニティセンター側の人たちもM I Aに参加できれば、外国人との連携がもっととれるのではないかと思います。

【市 長】

いい提案だと思います。では、お願いがあります。今度、武蔵野国際交流まつりがありますよね。その宣伝をコミュニティセンターへ行ってしてください。

【ご意見】

宣伝に行きたいけれど、今年は自分自身が参加していないのでちょっと難しい。

【市 長】

いやいや、ご自身が参加されなくても、こういう日に国際交流まつりがあるから、ぜひ皆さんで来てくださいと、それは言えるでしょう。そういう宣伝をすることによって、来ていただけるきっかけになると思います。それでいろいろなお話ができると思います。何もなくて行ってもなかなか話ができないかもしれませんが、武蔵野国際交流まつりがありますということをきっかけに、このコミュニティセンターではどういうお祭りがあるんですかと聞いたりして、コミュニケーションのきっかけづくりになると思うので、そういうものを持っていくといいと思います。

【司 会】

ありがとうございました。では、時間も迫ってまいりましたので、意見交換は終了させていただきます。

本日は市長にお越しいただき、また、市役所の皆さんにも来ていただきまして、貴重なお話がたくさん聞けたと思います。また、学生同士で武蔵野市はこういうところだよねとか、もっとこういうことをしていったほうが市がもうちょっと活性化するのではないかという話をして、お互い刺激にもなりました。先ほど私たちのグループの中でも出てきましたが、自分たちがもっと武蔵野市について知ることが必要で、そして武蔵野市はやっぱ誇れるまちだよねという気持ちになれたらいいなと思いました。



(3) 閉会のあいさつ

【市長】

楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいましたね。これからもっと内容を深めて意見交換ができるのではと思いました。ぜひ、これをきっかけに地域にも関心を持っていただきたいと思いますし、皆さんは大切な武蔵野市民の一人だと思っていますので、皆さんがここで学び、生活をするためにどうしたらいいのかというのを、これからもいろいろ提案いただきたいと思います。

今日の皆さんからの意見でなるほどなと思ったことは多々ありました。一つ反省をすると、やはり情報がいまいち皆さんに伝わっていないということです。武蔵野市もいろいろな媒体を使って情報提供をしていますが、それがなかなか伝わっていないと思いますので、SNSとか、皆さんが日常的にコミュニケーションツールとして使っているものも大いに活用しながら、多くの情報を皆さんに発信していきたいと思っています。皆さんも、武蔵野市はおもしろいことをやっているらしいではなくて、それにアクセスしてもらって、ぜひいろいろな場所に出かけて行っていただきたいと思います。皆さんが動くということは、実は地域のコミュニティづくりにつながっていきます。コミュニケーションが増すことになりますし、いろいろな面で地域の力が増していくと思っています。皆さんは学生ですので学ぶことが第一だと思いますが、ぜひこの武蔵野市をこれからも楽しんでいただいて、亜細亜大学で勉強したぞ、卒業したぞ、武蔵野市でいろいろ楽しんだぞということをこれからも誇りに思っていたきたいなと思っています。市役所にはいっぱい情報がありますので、市役所にも来てくださいね。

今日は本当にありがとうございました。

2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針

（※アンケートでいただいたご意見も含みます。また、同じ趣旨のご意見については、一部割愛しています。）

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1	イベント・まちの活性化	にぎわいのある楽しいまちづくりのために、子どもたちの遊ぶスペースを多くしたり、夏祭りやクリスマス会など、子どもが楽しめるイベントを増やしていくことが大切だと思う。 また、地域の人にそれを知らせるための宣伝活動をしていったらいい。	武蔵境地区は他の駅圏と比較して子どもが多く、商店街振興のイベントにおいても、必ず子どもを対象とした要素が含まれています。引き続き、取り組みを支援していきます。 毎年、子育てフェスティバルを開催しており、多くの方が家族連れで来場されます。また、0123施設や保育園をはじめ多くの施設で、子育て家庭に向けたイベントや講座を開催しています。 広報についてはホームページや市報だけでなく、フェイスブックやツイッターなど様々な媒体を通じて積極的に発信していきます。
2		学生が、フリーマーケットなどで地域交流をする場を設けたり、学んでいる学業を活かした企画をしてまちおこしをしていくのはどうか。	武蔵境活性化委員会及び一部の商店会では、亜細亜大学と協力し、地域活性化の取り組みを実施しています。それらの取り組みがさらに発展するよう、市では武蔵境活性化委員会及び商店会に対し、引き続き支援を行っていきます 行政主導で開催するフリーマーケットは、その役割を終えていると考えますが、地域交流という視点で学生イベントとして実施することは一定の意義があることと考えています。
3		子どもと一緒にバーベキューをして、その後ごみの分別講座をやって自分たちで体験してごみの分別を学ぶというイベントはどうか。	次世代を担う子ども達に、ごみ問題をいかに身近なものとして興味を持ってもらうかは大変重要ですので、いただいたご意見も参考にしながら、環境教育的イベントを検討していきます。
4		留学生がもっと日本人と触れ合えるような交流のイベントを増やせたら、まちの活性化にもなるのではないかな。	公益財団法人武蔵野市国際交流協会(MIA)では、留学生に地域の家庭を紹介し、1～2か月に1回、家庭訪問を中心に交流する『「留学生」むさしのファミリープログラム』を実施しており、2015年度(平成27年度)は、129名の留学生と84家庭が参加しました。また、年に数回交流会や講座を開催し、留学生とファミリーと一緒に参加し、交流を広げる機会を提供しています。さらに、留学生が地域で活躍するきっかけとするため、留学生が講師となり、お話や料理、工芸などの文化を地域の人に紹介し、地域の人と交流する機会を持っています。 年に1度の「むさしの国際交流まつり」では、留学生が民族衣装や音楽やダンスなどの紹介をしたり、地域の人と一緒に運営に関わるボランティア活動を行ったりするなど、交流の輪が広がっています。 今後も留学生の社会参加の促進のための事業を推進していきます。留学生の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。
5		学生が自分たちでできることを考えて、有志で集まり、防災活動やごみ分別セミナーなど、大学生のできることを企画するとして、市にはどうやって相談すればよいか。	防災活動については、防災課、ごみやリサイクルについては、ごみ総合対策課が担当していますので、ご相談ください。 内容が複数の分野にわたっていたり、どこに相談していいかわからない場合には、市民活動推進課にご相談いただければ、担当課との橋わたしをいたします。
6	情報発信	市で様々なイベントを行っているのを知らないという意見が多かったのので、宣伝としてラインやツイッターを使ってはどうか。	ツイッター・フェイスブックでの発信は随時行っています。ラインについては今後研究していきます。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
7	情報発信	情報発信、宣伝のため、武蔵境のラインの公式アカウントを作ったらよいと思う。学生の9割くらいはラインをやっているの、ポスター等より目にとまると思う。	効果的な情報発信方法については、各団体が検討し、必要に応じて、市が支援を行うこととなります。 過去には、市が商店会のホームページ作成やマップ作成を支援した実績があります。
8		職レポ(職業レポート)。すきっぷ通りの商店街で、大学生がインターンシップのようなものをして、職業の内容や商店街についての情報発信をする。	武蔵境活性化委員会が発行する「iisakai(いいさかい)」というフリーペーパーは、学生が取材・編集をしています。このフリーペーパーは、武蔵境の地域活性化を目的としており、掲載対象としてすきっぷ通り商店街も含まれています。
9		武蔵境のおいしい食べ物屋についての食レポを、学生がSNSなどで情報発信する。	口コミの効果の大きさは、市でも認識しています。良い情報については、積極的にSNS等で発信していただきたいと思います。
10	ごみの削減	亜細亜大学の学生が、たばこのポイ捨てを減らすポスターなどをつくってはどうか。	環境問題の啓発に関するアクションについて、亜細亜大学をはじめとした市内および近隣の大学との連携は、重要な課題と考えています。いただいたご意見も参考にしながら、環境啓発の仕掛けづくりを検討していきます。
11		市全体でごみ削減についてのキャンペーンを行う。市によるごみの削減目標を作成し、市民への周知を行う。キャンペーンに協力してくれた市民に何かしら市からフィードバックを行う。	市では、一般廃棄物処理基本計画において、市民1人一日当たりの排出目標を定めており、その目標について「武蔵野ごみチャレンジ600グラム」としてごみ減量のためのキャンペーンを行っています。全市民対象のごみ減量啓発キャンペーンとしてJR三駅周辺での一斉清掃活動や、スーパーマーケット店頭でのマイバッグキャンペーンを実施していますが、ごみの減量目標を記載した花の種等を参加賞として配布し、ごみの減量目標の周知に努めています。グッズの配布がごみを増やすことにならないよう配布の効果も検討しながら今後も様々なキャンペーンを実施していきます。
12	緑化	市指定の緑化区域を作る。例えば市営マンションの屋上や、亜細亜大学の使われていない屋上を緑化する。	市では、緑の基本計画2008において市域全体を都市緑地法に基づく緑化重点地区に位置付け、緑を基軸としたまちづくりを進めています。市内の建築行為に際しては、地上部を中心に敷地面積に対し20%以上の緑地確保を誘導しています。合わせて駅周辺や商業地域など地上部での緑地確保が難しい地域については、屋上緑化や壁面緑化を有効な手法として指導しています。しかし、屋上の防水・耐圧措置や散水機能など維持管理コスト等諸課題から普及が進まない実態が散見されます。屋上・壁面緑化は日々技術革新が見られますので、動向を注視しつつ広く周知啓発を行いながら、これまでの地上部での緑地確保とともに地域性を考慮したバランス良い緑化推進に努めていきたいと考えます。
13	公園の美化	公園などに設置されている公衆トイレの清掃を、市と学生が協力してやっていく。広報についても亜細亜大学の学生がポスターを作成したりする。	市では、市民参画による緑を基軸としたまちづくりを進めてきており、現在、公園緑地を拠点に26団体に「緑ボランティア団体」として、公園清掃や公園美化等に取り組んでいただいています。この団体の中には、学生と一緒に活動しているケースも見受けられ、ボランティア活動の活性化が行われつつあります。現在、トイレ清掃については専門業者に委託していますが、学生と市などによる多様な連携が、地域の力を育み、互いが支え合うまちづくりにも繋がり、望ましい姿と考えます。今後も、様々な連携が図れるよう効果的・効率的な情報発信を進めていきます。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
14		避難場所がどこにあるかわからない。	武蔵野市では、武蔵野市立の小学校12校、中学校6校、都立武蔵高校、都立武蔵野北高校の合計20カ所を避難所として指定しております。避難所の場所は、武蔵野市ホームページや、無料で配布をしている防災情報マップ、防災ハンドブック等でも広報しております。
15	防災	避難訓練が、市として実施されているのか。実際に災害が起きた時にどういう対応をすればいいのか、どれぐらいの被害が予想されるのかわからない。	平成27年度には、5月16日水防訓練（むさしの市民公園）、8月29日はらっぱ防災フェスタ（都立中央公園）、10月25日総合防災訓練（市役所、市内20カ所の避難所、武蔵野赤十字病院）、1月16日ボランティア訓練、3月11日吉祥寺駅周辺帰宅困難者対策訓練、と各種の防災訓練を行いました。また避難所や地域、集合住宅などでも避難訓練を行っており、市も要請があった場合に参加しています。 実際に大きな地震がおきた時は、「身の安全」を守る行動をしてください。室内であれば机やテーブルの下へもぐり、屋外であればかばん等で頭を守るようにしてください。その後、自身が怪我等なく無事であれば、周囲の方と消火や救助などに協力してください。 また、自宅に倒壊や火災の危険がある場合には、近くの一時集合場所や広域避難場所へ避難してください。その後避難所が開設された場合には避難所での生活となります。しかし、避難所での生活はストレスがたまったり、不自由さを伴うものなので、自宅に倒壊や火災の危険がない場合には、自宅での生活継続をお願いしています。そのために、自宅の耐震化対策も行ってください。 武蔵野市の被害想定は最大で市内震度6強、死者数約40人、負傷者数約800人、全壊・焼失棟数約1,450棟、避難者数（ピーク時）約32,000人、帰宅困難者は市内全域で約54,000人です。
16		近所付き合いをもっとよくしたり、お年寄りがどこに住んでいるのか把握すれば、私たちの若い世代が何か協力できることがあるのではないかな。	市では、災害時に自ら避難することが困難で、何らかの支援が必要な高齢者・障害者等に対する支援体制づくりを進めています。その一環として、総合防災訓練及び防災ボランティア訓練では、多数の大学生ボランティアの方にもご協力いただいておりますので、ぜひご参加いただければと思います。
17		よく武蔵野市の防災無線を聞くと、アナウンスが日本語なので、わからない外国人もいるのではないかな。	防災ハンドブックの外国語対応を検討し、外国人に向けた平時からの情報提供を強化していきたいと思っています。
18		大学生に向けて、震災について学ぶ機会を設けたり、セミナーとかで大学が宣伝に回ったり全面極力したり、もっと若者の使う情報網を使って防災の情報を発信していったらいい。	現在、小・中学校、高校での防災授業に協力させていただいているため、ご希望があれば出前講座を実施させていただきます。また、実施する際はフェイスブック、ツイッター等のツールを使って広報したいと思います。具体的なアイデアなどがありましたら、ぜひ防災課にご連絡ください。
19	学校との連携	高校や中学校、小学校との連携でやっていることはあるか。例えば高校の園芸部から花をもらって駅前に植えるなど。	中学校に小学生が訪問し、生徒会が学校案内をする試みを行っています。また、平成27年度には、小・中学校合同で、セカンドスクール報告会を実施しました。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
20	意見交換会	1年生に向けて、4月とかにこういう意見交換会を市でやってくれるとうれしい。	学生とのタウンミーティングについては、今後も積極的に開催していきます。開催時期については、大学側と協議してまいります。また、タウンミーティングという形でなくとも、ご依頼があれば、市の職員を派遣して、市の行っていることの説明やイベントの紹介などいたします。
21	MIA	MIAとコミュニティセンターで連携がとれているのかどうか知りたい。コミセン側がMIAに参加できれば、外国人との連携がもっととれるのではないかな。	公益財団法人武蔵野市国際交流協会(MIA)では、コミュニティセンターで行われるイベントに外国人を派遣し、民族音楽などの演奏会を開催するなど、連携・協力した事業を展開しています。また、地域での在住外国人支援の推進にご理解いただけるように、イベントの際には、MIAの日頃の取組みについて説明しています。MIAの広報誌やイベントチラシをコミセンに随時送付しており、コミセンがMIAのイベントなどに参加しやすい環境づくりも行っています。今後も引き続き、地域との連携・協力事業を推進していきます。

3. アンケートでいただいた感想

(※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています。)

1	市長さんが気さくな人だったし、雰囲気がお固くならないでできたので参加しやすかった。少人数なので話しやすかった。今度市役所に行ってみたいと思った。
2	意見交換しやすかったが、皆が学生であるため市の情報に関心をあまり持っていないことに気づきました。市役所ではいろいろなことを実際に行っていると聞き、様々な情報発信が必要ではないかと思いました。
3	市長や議員の方と話して、武蔵野市のことを全く理解していなかったことがわかった。たくさん災害対策のことを聞けて良い機会を与えて下さったと思っています。他の人にも参加してもらいたいのので、様々な場所で開催してほしいです。本日はありがとうございました。
4	市民と市長のタウンミーティングを通して、普段あまりじっくりと考えることがなかったテーマについて考え話し合うことができたので良かったです。私のチームは災害に強いまちづくりがテーマだったのですが、いろいろな人の意見や市長さんのお話が聞けてとても勉強になりました。
5	実際に市長や議員さんと交流でき、武蔵野市にもっと興味がわく機会となりました。現在大学3年生ですが、もっと早い段階でこのような機会があれば良かったです。
6	すごく参加・発言しやすい雰囲気でした。ただ、時間が足りないと思ったので、時間に余裕があればもっと良いミーティングになり、提案も増えると思いました。
7	直接自分たちの考えを伝えることができる大変いい機会だと思ったので、今後もこういうミーティングを増やしていても良いと思う。
8	ワークショップと市長のコメントの組み合わせは学生に対する学習効果が高いと思う。
9	今回のミーティングを通して、武蔵野市との絆がいっそう深まってきたような気がします。これから学生と武蔵野市が協力していくことを期待しております。

※アンケートは傍聴の方も含みます。

第 62 回

市民と市長の

テーマ別

タウンミーティング

主催 武蔵野市

協力 亜細亜大学

テーマ 「学生がまちづくりに協力できること」

内容 武蔵野市に在住在学の学生が、市長と意見交換を行います。

日時 11 月 12 日(木) 午後 7 時～9 時

場所 亜細亜大学 5 号館 2 階 524 教室

*5号館へは南門からお入りください。

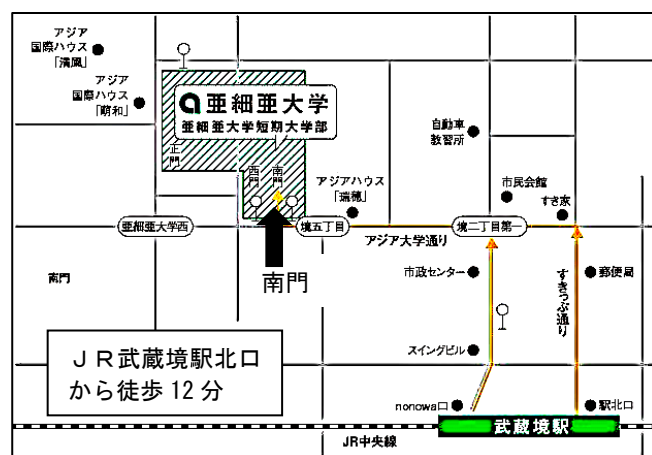
武蔵野市境 5-24-10

- ◆当日直接会場へお越しください。
- ◆お車でのご来場はご遠慮ください。

【お問い合わせ】

武蔵野市 市民生活推進課 市民相談係
TEL : 0422-60-1829 FAX : 0422-51-2000

ちらしデザイン：亜細亜大学 榎本真美さん



第62回

市民と市長のタウンミーティング

〈テーマ〉

学生がまちづくりに協力できること

まちづくりを考えるキーワード

街の活性化 災害 文化 自転車
イベント 防犯 高齢者
地域とのつながり ごみ 街並み 子ども
緑 ボランティア

当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、
下記枠内にお書きになり、市役所(7階)市民活動推進課、または各市政センターに
お届けいただくか、FAXで市民活動推進課(0422-51-2000)にお送りください。

第62回

テーマ別
市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成28年3月
武蔵野市 市民部 市民活動推進課
武蔵野市緑町2丁目2番28号
電話(0422)60-1829 (直通)